

# RDD 2025 IN 旭川

## ～世界希少・難治性疾患の日～

### 講演会



**RDD「世界希少・難治性疾患の日」とは**

(一財)北海道難病連が2011年より毎年2月、難病患者・家族と社会をつなぐ架け橋となり「難病」の認知度向上を目指して札幌市内で開催してきました。

このたびRDD2025旭川実行委員会のご協力により旭川で“はじめて”開催いたします！

開催日時

2025年2月2日(日) 13:30～16:00  
(受付 12:30～)

会場 旭川市障害者福祉センター おびった 2階 会議室 1  
旭川市宮前1条3丁目3-7 TEL:0166-45-0750

内容 第1部 講演会／第2部 難病患者団体活動紹介・交流会

講演 『優しい想像力を心に広げて  
～みんなが暮らしやすい社会について考える～』

福場 将太 先生 美唄すずらんクリニック 副院長

1980年広島県呉市生まれ。医療法人風のすずらん会 美唄すずらんクリニック副院長。  
東京医科大学在学中に難病「網膜色素変性症」を診断され、視力が低下する葛藤の中で医師免許を取得。  
2006年、精神科医として北海道に着任。32歳で完全に失明するが、それから10年以上経過した現在も、患者の顔が見えない状態で地域医療に従事。支援する側と支援される側、両方の視点から得た知見を元に、心病む人たちと向き合っている。  
2018年からは自らの視覚障害を開示して講演・執筆活動を開始。  
2024年3月、NHKのテレビ番組『北海道道』でその姿が特集、同年10月には初の著書『目の見えない精神科医が、見えなくなって分かったこと』(サンマーク出版)が刊行。ライフワークは音楽と文芸の創作。

対象 難病患者・家族など どなたでもご参加いただけます

参加費・申込 参加費無料・事前申込可、当日参加も可  
(12月18日(水)10時～)

お問い合わせ 事前申込先 (一財)北海道難病連 電話 011-512-3233(平日9～17時)  
札幌市中央区南4条西10丁目 FAX 011-512-4807

主催: (一財)北海道難病連、北海道難病センター

後援: 北海道、旭川市 (予定含む)



申込フォーム